

会場案内図

広島コンベンションホール

〒732-8575 広島県広島市東区二葉の里3丁目5番4号 広テレビビル

TEL : 082-567-2300 / FAX : 082-567-2301

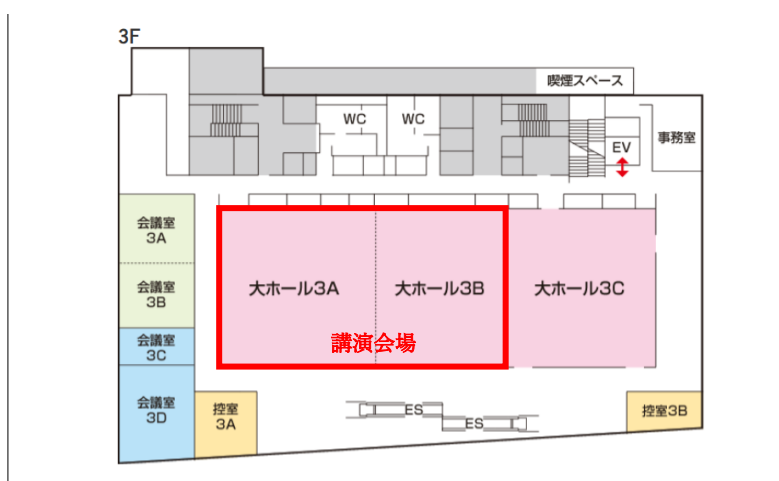
JRでの所要時間

岡山	……	約40分(のぞみ)
米子	……	約3時間6分(特急やくも・のぞみ)
鳥取	……	約2時間56分(特急スーパーはくと・のぞみ)
松江	……	約3時間39分(特急やくも・のぞみ)
高松	……	約1時間47分(快速マリンライナー・のぞみ)
徳島	……	約3時間4分(特急うずしお・快速マリンライナー・のぞみ)
高知	……	約3時間29分(特急南風・のぞみ)
松山	……	約3時間39分(特急しおかぜ・のぞみ)



JR「広島」駅 新幹線口(北口)前から徒歩4分 / 広電「広島」駅 から徒歩6分
※敷地内に駐車スペースはございません。

【セミナー会場】3F 大ホール



第12回中四国糖尿病療養指導スキルアップセミナー開催のご案内

このたび、第12回中四国糖尿病療養指導スキルアップセミナーのお世話を務めさせていただきますことを大変光栄に存じております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて今回のセミナーのテーマは、「療養ってやっぱり私たちの糧、患者さんとの会話が鍵!! ～本セミナー初のスマホを用いた双方向での学び～」とさせていただきます。糖尿病治療の目標は、血管合併症のみならず悪性腫瘍・認知症・サルコペニアなど多岐にわたる併存症の発症進展を阻止して、糖尿病のない人と同等な寿命とQOLを維持する点にあることはすでに周知のことと存じます。しかし実際の臨床現場では、症状の乏しい疾患であるがゆえ、糖尿病とうまく付き合えない患者さんが数多く存在し、その対応に日々悩まれているのではないのでしょうか。そして、一方向的な知識の伝達が患者さんの行動変容にあまり有効でないことも経験されていることでしょうか。

「目の前の患者さんを良い方向に導くため、自分に何ができるか？」これが療養相談の原点ではないでしょうか？本セミナーは、患者さんとの良いコミュニケーションをとるために必要なスキルを向上させることが目的ですが、演者の先生方のお話を聴講するだけの一方向的アプローチでの学習効果は十分でないことが知られています。今回のセミナーでは、初の試みとして各セッションの演者の先生方から皆様に向けて質問やクイズを投げかけていただき、それに対して参加者ご自身のスマートフォンで気軽に回答するという双方向の企画としました。「自身で考え、自分なりの答えを出す」ことを経験していただくことで、楽しくかつより高い学習効果が得られると思いますので、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第12回中四国糖尿病療養指導スキルアップセミナー
世話人 石田 和史
厚生連広島総合病院 糖尿病代謝内科・糖尿病センター

<申請中 取得可能単位>

日本糖尿病療養指導士 認定更新のための研修会<2群> 2単位
日本糖尿病教育・看護学会<1群> 2単位
日本病態栄養学会<1群> 2単位
中四国各県 LCDE 単位

日時：2024年9月29日(日) 8:55～16:35

会場：広島コンベンションホール(広島県広島市東区二葉の里3丁目5番4号 広テレビビル)

※本会は現地集合型での開催です。オンライン参加はございません。

主催：日本糖尿病学会中国四国支部

後援：(一社)日本糖尿病療養指導士認定機構、(一社)日本糖尿病教育・看護学会、(一社)日本病態(予定)栄養学会、(一社)日本栄養士会、(一社)山口県医師会、(一社)山口県薬剤師会、(公社)山口県看護協会、(公社)山口県栄養士会、(一社)山口県理学療法士会、(一社)山口県臨床検査技師会、(一社)山口県糖尿病協会、NPO法人山口県糖尿病療養支援機構

世話人：石田 和史(厚生連広島総合病院 糖尿病代謝内科・糖尿病センター)

企画責任者：中元 美恵(厚生連広島総合病院 糖尿病看護特定認定看護師)

テーマ：療養ってやっぱり私たちの糧、患者さんとの会話が鍵!!

～本セミナー初のスマホを用いた双方向での学び～

参加費：3,000円(お申し込み後、クレジット決済にてお支払いください。)

参加人数(概数)：200名

参加申し込み：事前参加のみです。下記セミナーホームページよりお申し込みください。

ホームページ：<https://www.kwcs.jp/cdec12/>

事前参加登録期間：～2024年9月19日(木)

<お問い合わせ先>

株式会社キョードープラス 〒700-0976 岡山県岡山市北区辰巳20-110
TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682 E-mail：cdec12@kwcs.jp

<プログラム>

2024年9月29日(日) 広島コンベンションホール 3F 大ホール 8:25 受付開始～

テーマ：療養ってやっぱり私たちの糧、患者さんとの会話が鍵!!～本セミナー初のスマホを用いた双方向での学び～

*敬称略

8:55-9:05 開会	
世話人開会挨拶 主催挨拶	JA 広島総合病院 石田 和史
9:05-9:55 セッション1	座長：グランドタワー メディカルコートライフケアクリニック 藤川 るみ (医師) 座長：広島市立広島市民病院 中村 麻里子 (看護師)
患者さんの思いに寄り添う療養支援 ～1型糖尿病をもつ成人女性が自ら考えられる支援を通して～ 高齢1型糖尿病患者の支援	福山医療センター 戸田 滋久 (看護師) 東広島医療センター 頼本 奈々 (看護師)
9:55-10:45 セッション2	座長：県立広島病院 糖尿病・内分泌内科 望月 久義 (医師)
肥満を伴う糖尿病の治療戦略 高度肥満の外科治療の効果	広島大学 内分泌・糖尿病内科 大野 晴也 (医師) 広島大学病院 長尾 晶子 (管理栄養士)
10:45-11:35 セッション	座長：JA 広島総合病院 糖尿病センター 一町 澄宜 (医師)
2型糖尿病の薬物療法	広島赤十字・原爆病院 内分泌・代謝内科 亀井 望 (医師)
11:50-12:40 ランチョンセミナー	座長：内科(糖尿病) 久安医院 大久保 雅通 (医師)
2型糖尿病を進行させないために必要なこと	坂出市立病院 糖尿病内科 大工原 裕之 (医師)
12:50-14:05 セッション4	座長：野島内科医院 野島 秀樹 (医師) 座長：安田女子大学 佐藤 果苗 (看護師)
Diabetes スティグマとアドボカシー 最新の動向 ひとりの患者・ひとりの看護師として考える糖尿病スティグマ	枚方公済病院 内分泌代謝内科 糖尿病センター 田中 永昭 (医師) 神奈川県立こども医療センター 幕内 千賀子 (看護師)
14:05-15:10 セッション5	座長：呉医療センター 内分泌・糖尿病内科 久保田 益亘 (医師) 座長：JA 広島総合病院 中元 美恵 (看護師)
備後糖尿病フットケアセミナー9年の歩み 50歳代で片足を失ったあともフットケアを拒否する患者との関わり 糖尿病と認知症をもつ人に対する在宅支援 ～フットケアを通じたアプローチ～	福山市民病院 永井 美貴 (看護師) 医療法人一陽会 原田病院 庄子 千鶴満 (看護師) JA 尾道総合病院 貞安 妙美 (看護師)
15:25-16:30 セッション6	座長：片岡内科クリニック 杉廣 貴史 (医師) 座長：広島大学病院 大石 愛子 (看護師)
インスリンポンプ ～外来導入のすすめ方～ みんながハッピーになるCGM活用法 生活の中のインスリンポンプ ～私がおそわったこと～	片岡内科クリニック 市原 紀子 (看護師) 広島市立北部医療センター安佐市民病院 山崎 優介 (看護師) 日本鋼管福山病院 岡崎 真由美 (看護師)
16:30-16:35 閉会	
世話人閉会挨拶	JA 広島総合病院 石田 和史